



県指定 絹本着色伝通院画像 (楞嚴寺蔵)

市制55周年記念

# 刈谷の文化財展

2005年7月20日[水]～8月14日[日]

休館日 7月25日[月]・8月1日[月]・8日[月]

開館時間 午前9時～午後5時

会場 特別展示室、第1展示室

入場無料

刈谷市美術館 Kariya City Art Museum

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地

Tel 0566・23・1636 Fax 0566・26・0511

Url <http://www.city.kariya.aichi.jp/museum/>

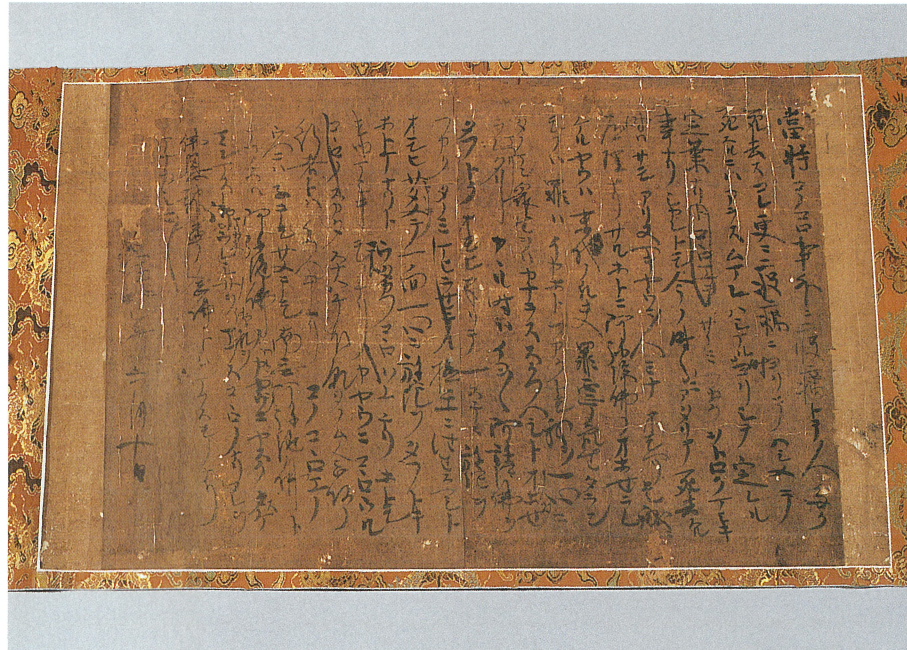
主催／刈谷市・刈谷市教育委員会

問合せ先／刈谷市教育委員会文化振興課 Tel 0566・62・1037



刈谷市域における最も古い人の活動の跡は、1万年以上前の旧石器時代までさかのぼります。縄文時代には本刈谷貝塚をはじめとして県下でも有数の貝塚が残され、古代にはいくつかの集落が営まれ、市北部の丘陵地では窯業も行われていました。鎌倉時代から室町時代にかけては重原荘の荘域に含まれていましたが、戦国の時代、尾張国緒川から刈谷へ進出してきた水野氏が、刈谷城を核とした城下町を形成したことから、刈谷の町・村が拡大していきました。大正時代に豊田佐吉が刈谷に自動織機試験工場を建設してからは、工業都市としてめざましい発展を遂げ、現在に至ります。

このような悠久の歴史の中で、刈谷市には大切に守り受け継がれてきた多くの貴重な文化財が残されています。このたび刈谷市制55周年を記念して、これらの文化財を一堂に展示します。長い年月の間大切に守られてきた文化的遺産を正しく学びながら、郷土の歴史への親しみを深める絶好の機会となるでしょう。



えきせい おふみ  
県指定 疫癘の御文 (個人蔵)



やぐらどけい  
市指定 檜時計 (刈谷市蔵)



つぎ  
市指定 坏とかめ (刈谷市蔵)



ししがしら  
市指定 獅子頭 (銀座蔵)

## 会期中の催しもの

① 講演会 (今回の展示に関する講演を行います。)

場 所：美術館2階研修室  
定 員：80名  
時 間：各回とも午後1時30分～3時

聴講無料

① 7月23日 [土] 「古文書講座 ―指定文化財を読む―」  
村瀬典章 (文化振興課学芸員)

刈谷町庄屋留帳をはじめ、指定文化財になっている古文書を通して万燈祭の起源や刈谷の山車祭りなどについて解説を行います。  
古文書を読んだことがなくてもご興味のある方はご参加ください。

② 7月30日 [土] 「刈谷の遺跡 ―指定文化財を中心に―」  
鶴銅堅証 (文化振興課学芸員)

県指定文化財である本刈谷貝塚出土品などの解説を交えて、本刈谷貝塚や井ヶ谷古窯跡群など市内の遺跡について解説を行います。

交通案内 電車・JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩10分※「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約15分/車:名古屋方面より=国道23号線(知立バイパス)「一ツ木」出口から約5km。駐車場60台(無料)

**刈谷市美術館**  
Kariya City Art Museum  
〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地  
TEL. 0566-23-1636 FAX. 0566-26-0511  
<http://www.city.kariya.aichi.jp/museum/>

## ② 展示資料説明

刈谷ふるさとガイドボランティアが展示資料の説明を随時いたします。